

江田島市で取り組んでいること

①市でどんな事をしているか見てみたい

9月から大柿市民センターに認知症パネルを設置し、市内各所を巡回します。写真は昨年の様子で認知症についての本も設置しています。



③仲間と一緒に認知症を学んでみたい

市では職員が地域に出向き、認知症をテーマに出前講座を実施しています。認知症を正しく理解し、地域で支えることを学ぶ「認知症サポーター養成講座」の他、要望に応じて開催しますので、お問い合わせください。

④家族が道に迷ってしまう心配がある時に（どこシル伝言板）

帰り道が分からなくなって困った時のために、衣類や持ち物にQRコードのついたシールを貼り、そのQRコードを読み込むことで「発見者」から「事前に登録された家族等」に発見情報がメールで届き、連絡を取ることができます。



▲シール見本

⑤認知症のことを話し合ってみよう～居場所づくり・交流の場

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉の専門家など誰でも、気軽に集える場所です。今年度は、新たに1箇所のカフェがオープンし毎月市内5か所で開催しています。様々な行事や悩みごとの相談をしたり、認知症について学び、考えることができます。気軽に参加してみてください。

名称	日にち	時間	場所	問合せ連絡先
いやしカフェ	9月4日(水) 10月2日(水)	10:00～11:30	江南交流プラザ	江能福祉会 ☎0823-27-8885
よりみちカフェ	9月24日(火)	10:00～11:30	江田島保健センター	誠心福祉会(誠心園) ☎0823-42-5252
虹カフェ	9月20日(金)	10:00～11:00	鹿川交流プラザ	訪問看護ステーションゆずり葉 ☎080-1289-5033
おきがるカフェ	9月11日(水)	10:00～11:30	沖美市民センター	江田島訪問看護ステーションえん ☎0823-27-6035
ビックリかふえ	9月25日(水)	10:00～11:30	明慶寺同朋会館	明慶寺 ☎0823-57-2022

⑥認知症のことで専門医師に相談してみたい

認知症が心配される時、まず医療機関受診や日常生活での工夫などの助言を行います。専門の医師にかかりたいけど、本人の同意が得られない時には、年に4回各町を巡回する物忘れ相談会や認知症初期集中支援チームなどがありますので、ご相談ください。

認知症に備えるためには、本人や家族、行政だけが取り組むものではありません。地域の方の理解を深めることで、本人や家族が相談しやすい環境を作ることができます。理解の輪を広げて安心して住みやすい地域を目指しましょう。

②広く認知症のことを知りたい（市民公開講座があります）

江田島市市民公開講座

9月は世界アルツハイマー月間
認知症になっても安心して暮らせる毎日を

今、認知症を知る

～江田島市の未来を考えよう～

申込み不要

「認知症はなんとなく知っているけど…」
「認知症について知りたい」など、
どなたでも大歓迎！

講師

広島県立・江田島認知症疾患医療センター（ふたば病院）精神保健福祉士
藤元 歩 氏
（チームオレンジ・コーディネーター）

講演内容

- 認知症とは（支援方法、対応について）
- 呉市の取り組みについて

日時

9月13日(金)
13:30～15:00

会場

大柿市民センター
大柿町大原535-2

参加費 無料

※駐車場あり

問合せ 江田島市地域包括支援センター（市役所2階）
TEL: 0823-43-1640

【地図】

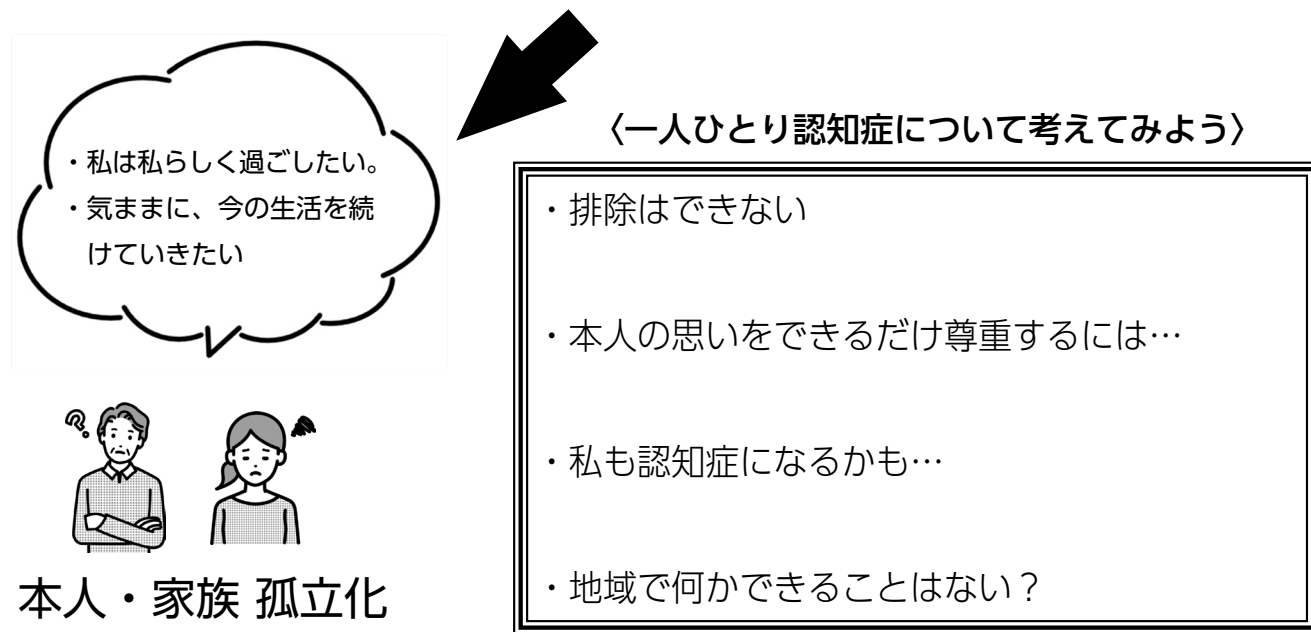
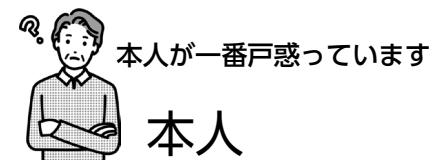
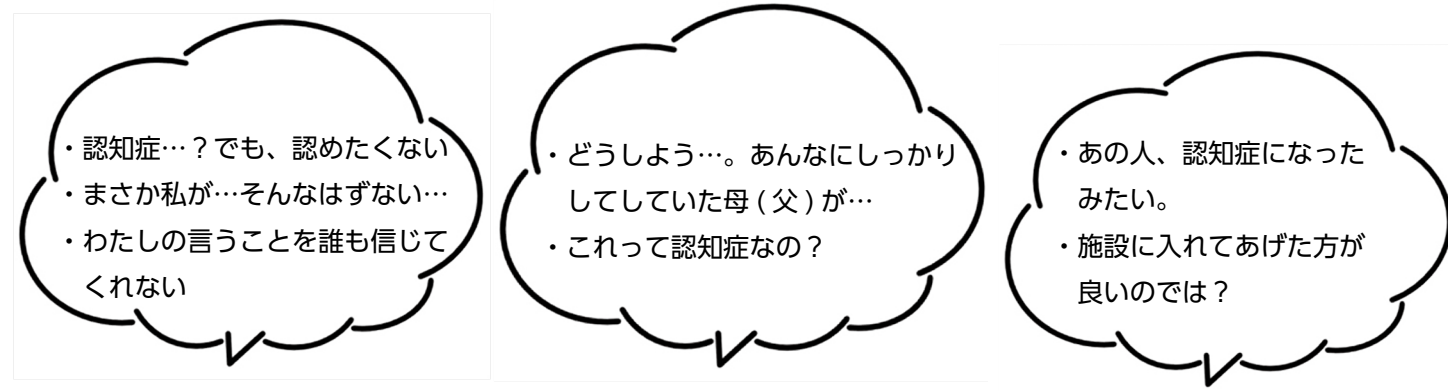


9月は世界アルツハイマー月間です ～認知症になっても安心して暮らせる毎日を～

岡高齢介護課（地域包括支援センター）☎ 0823-43-1640

◎認知症は身近な病気の一つ

認知症は誰もがなる可能性のある身近な病気です。予防や早期発見・早期治療も大切ですが、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりが必要です。令和6年6月時点の江田島市の65歳以上の人口は9,397人（高齢化率45.2%）。そのうち、942人、およそ10人に1人が認知症の症状がある高齢者となっています。（介護保険の要介護認定データを参照としていますので、実数ではありません）



本人・家族 孤立化

認知症の症状は対応方法で改善することもあります！

大切な人が認知症になったら、あなたが認知症になったら、どう暮らしたいですか？

どんな江田島市であってほしいですか？